

HL7 Change Point Digest rev1.0

Konica Minolta Medical & Graphic Inc.
R&D Center
Software Development Division
Hiroyuki KUBOTA
2006/11/20

Contents

- アクター毎の変更点
 - ADT
 - OP
 - OF
 - IM
- Tips

ADTの変更点

- OP,OFへの患者情報送信
 - MSH-9をADT^A08^ADT_A01に変更する
- OP,OFからの患者情報受信応答
 - MSH-9がACK^A08^ACKIに対応する

OPの変更点その1

- ADTからの患者情報受信
 - MSH-9がADT^A08^ADT_A01に対応する
- ADTへの患者情報受信応答
 - MSH-9をACK^A08^ACKに変更する
- OFへのオーダー情報送信
 - MSH-9をOMG^O19^OMG_O19に変更する
 - TQ1-9にOBR-27の緊急度を転記する
 - OBR-27はリタイアなためNULLとする
 - ORC(NW)にもORC(PA)と同じOBRを追加する
- OFからのオーダー情報送信応答
 - MSH-9がORG^O20^ORG_O20に対応する

OPの変更点その2

- OFからの患者受付受信
 - MSH-9がORU^R01^ORU_R01に対応する
- OFへの患者受付受信応答
 - MSH-9をACK^R01^ORU_R01に変更する
- OFからのオーダー実施受信
 - MSH-9がOMI^O23^OMI_O23に対応する
 - TQ1-9の緊急度に対応する
 - OBR-27がNULLでも許容する
 - ORC(NW)にもOBRが付いても対応する
 - ZE-1のセットIDに対応する
 - ZE-2の制御コードに対応する
 - ZE-3の手技に対応する
- OFへのオーダー実施受信応答
 - MSH-9をORI^O24^OMI_O24に変更する

OFの変更点その1

- ADTからの患者情報受信
 - MSH-9がADT^A08^ADT_A01に対応する
- ADTへの患者情報受信応答
 - MSH-9をACK^A08^ACKに変更する
- OPからのオーダー情報受信
 - MSH-9がOMG^O19^OMG_O19に対応する
 - TQ1-9の緊急度に対応する
 - OBR-27がNULLでも許容する
 - ORC(NW)にもOBRが付いても対応する
- OPへのオーダー情報受信応答
 - MSH-9をORG^O20^ORG_O20に変更する

OFの変更点その2

- OPへの患者受付送信
 - MSH-9をORU^R01^ORU_R01に変更する
- OPからの患者受付送信応答
 - MSH-9がACK^R01^ORU_R01に対応する
- OFへのオーダ実施送信
 - MSH-9をOMI^O23^OMI_O23に変更する
 - TQ1-9にOBR-27の緊急度を転記する
 - OBR-27はリタイアなためNULLとする
 - ORC(NW)にもORC(PA)と同じOBRを追加する
 - IPC-1にOBR-18の受付番号を転記する
 - IPC-3にZDS-1の検査インスタンスUIDを転記する
 - IPC-5にOBR-24のモダリティを転記する
 - ZE-1にセットID(1オリジン)を記載する
 - ZE-2に制御コード(PL: 予定 or RS: 実施)を記載する
 - ZE-3に手技を記載する
- OFからのオーダ実施送信応答
 - MSH-9がORI^O24^OMI_O24に対応する

OFの変更点その3

- IMへの患者情報送信
 - MSH-9をADT^A08^ADT_A01に変更する
- IMからの患者情報受信応答
 - MSH-9がACK^A08^ACKIに対応する
- IMへのオーダ情報送信
 - MSH-9をOMI^O23^OMI_O23に変更する
 - TQ1-9にOBR-27の緊急度を転記する
 - OBR-27はリタイアなためNULLとする
 - ORC(NW)にもORC(PA)と同じOBRを追加する
 - IPC-1にOBR-18の受付番号を転記する
 - IPC-3にZDS-1の検査インスタンスUIDを転記する
 - IPC-5にOBR-24のモダリティを転記する
- IMからのオーダ情報受信応答
 - MSH-9がORI^O24^ORI_O24に対応する

IMの変更点

- OFからの患者情報受信
 - MSH-9がADT^A08^ADT_A01に対応する
- OFへの患者情報受信応答
 - MSH-9をACK^A08^ACKに変更する
- IMへのオーダ情報送信
 - MSH-9がOMI^O23^OMI_O23に対応する
 - TQ1-9の緊急度に対応する
 - OBR-27がNULLでも許容する
 - ORC(NW)にもOBRが付いても対応する
 - IPC-1の受付番号に対応する
 - IPC-3の検査インスタンスUIDに対応する
 - IPC-5のモダリティに対応する
- IMからのオーダ情報受信応答
 - MSH-9をORI^O24^ORI_O24に変更する

Tips

- OPのためのTips
 - オーダ情報送信 (OMG/ORG)
 - 昨年のORM、メッセージに対してTQ1セグメントが加わっただけなので、TQ1-1には「1」とTQ1-9には「R」に固定値を入れる
- OFのためのTips
 - オーダ情報送信 (OMI/ORI)
 - OPからのOMGメッセージに対してIPCセグメントが加わっただけなので、IPC-1受付番号、IPC-3検査インスタンスUIDを採番して、IPC-5はOBR-4のJJ1017-16Pの1桁目から辞書変換して登録する
 - 患者受付通知 (ORU/ACK)
 - OFの操作による契機か、MPPSのIn Progressの契機かで患者受付通知は送信すればよい
 - 検査実施通知 (OMI/ORI)
 - OFの操作による契機か、MPPSのCompletedの契機かで検査実施通知は送信すればよい
 - IM向けのOMIメッセージに対してZE1セグメントが加わっただけなので、ZE-1には「1」、ZE-2には「RS」、ZE-3には何らかのコード^テキストで手技を登録する

Caution !

ミニマムなコネクタソン向け対応なので実運用は考慮してません